

第1章

相手の英語が聞き取れない場合その意味 がすぐにわかるコツ

少し想像してみてください。

あなたは外国人と話しています。
言っていることは大体わかるのですが、いきなり

「So anyways, aiuztheenkngontuthupar. WAnuCAM?」と聞かれます。

相手は笑顔であなたの返事を待っています。

「えー、えーと…」あなたは心臓がドキドキして、顔が真っ赤になります。
こんなシチュエーション、よくあるのではないのでしょうか？

実は、誰にでもネイティブの英語は聞き取りにくいのです。アメリカ人は単語をつなげて発音し、更に言っていることの半分をわざとモゴモゴ言っています（後日、その理由をお伝えします!）ので、聞き取りにくいのは当たり前のことなのです。アメリカ人同士でさえ、相手の英語が聞き取れないことがたくさんあります！

ある日、僕は友達と遊んでいました。バーに入った時、友達は英語でこう尋ねてきました。

「Cow wrong were your ear?」

僕は「えっ、なんて言ってるの?」と思ったので、
「...Sorry, could you say that again?」と友達に言いました。

「Come on, Arthur! Cow wrong were your ear?」

と、友達は言い直してくれたのですが・・・

僕はまだ友達の言っていることが聞き取れず、さらに二回ぐらい聞き返してようやく言っていることが分かりました！

友達は僕に、「How long were you here?」と聞いていただけだったのです。

実は、ネイティブの僕でさえ、こんな簡単なことが聞き取れないこともあるのです！！

英語がペラペラ話せるようになったとしても、相手の言っていることがわからないことがあるのはごく自然です。ですからあなたに目指して頂きたいゴールは、いつでも完璧に聞き取ることではなく、「聞き取れない時に会話をスムーズに続けること」です。

では、相手の英語が聞き取れない時、具体的にどうすればいいのでしょうか？

まずは、リスニングを上達するための重要なポイントについてお話しします。英語を自由に話せるようになった日本人は、このポイントを必ずマスターしています。

英語を話せる日本人が使うリスニングのコツ

英語を100%聞き取れなくても気にしない

試験などのリスニング問題だと、英語を100%聞き取れなくてははいけません。聞き取れないと点数が引かれてしまうからです。でも、これが会話の場合、どのくらい聞き取ればいいのでしょうか？

実は、相手が言っていることを100%聞き取れなくても大丈夫なのです。

なぜなら、会話でのコミュニケーションの目的は「英語を完璧に話す」ことではなく、「言いたいことを伝えて相手と繋がる」ことだからです。

正直にいうと、僕は日本人と会話をする時、聞き取れているのは60%くらいです。そうです！60%しか聞き取れなくても、日本語での会話を続けることができるのです。

全体的な意味を捉えてみる

実は、人間は相手の言語が50%しか聞き取れなくても、「非言語コミュニケーション」、もしくは「シチュエーション」から全体的な意味がわかります。

アーサーの経験：

僕が日本に初めて住んだ頃、コンビニが大好きでした。日本のコンビニの食べ物はアメリカのより何倍も美味しくて、何でも買えるので本当にはまっていました。

でも、いつ行っても、レジの店員さんに商品とお金を渡す時に何か聞かれ、それが早すぎて完璧には聞き取れませんでした。

それでもシチュエーションや「～をお持ちでしょうか」という30%だけ聞き取れた部分から予想して考えてみました。きっと、「ポイントカードをお持ちでしょうか」という意味だろうと推測することができました。

「～をお持ちでしょうか」しか聞き取れなかったのですが、店員さんが僕に伝えたかったことは理解でき、返事をすることができました。

聞き取れなくても、会話を続けてみる

僕は、アメリカ人との会話で聞き取れない時、まずは会話を続けてみます。なぜかという、話をもう少し続けたら全体的な意味がわかることが多いからです。

たとえ意味がわからなくても何か問題になるわけではありません。会話の目的は、完璧に理解できることではなく、相手とつながって仲良くなることです。

会話が部分的にわからなくても、相手と仲良くなれるのであれば気にする必要はありません。

聞き取る必要がある時

でも正直にいうと、相手が言っていることを正しく聞き取らなければならない時も実際にあります。それはどういう場面でしょうか？

相手があなたの返事を待っている時

相手が何かを言って、あなたの返事を待っています。あなたはちゃんと聞き取れていなかったなので、どう答えればいいのかわかりません。でもこの場合、相手のボディールンゲージですぐにわかります。

会話全体の要約さえわからない時

たまに、あなたが聞き取れなかった部分が全体の意味を理解するのにとても重要で、相手が言っていることが全くわからなくなってしまうことがあります。そんな時は、会話をうまく続けるために相手に「意味を確認する」必要があります。

相手の英語が聞き取れない時に、役立つ英語

では、そんな場面に直面したら、どうすればいいのでしょうか？
相手に言ったことをもう一回繰り返して、ゆっくりと話してもらいます。

「I'm sorry」で区切る

まずは、「I'm sorry」と言います。この「I'm sorry」は「ちょっと待ってください」という意味です。

注意！！発音によって意味が変わります。

第1章

この「I'm sorry」のイントネーションは、「sorry」の語尾を上げることがポイントです。イントネーションを下げてしまうと、言葉の意味が完全に変わってしまいます。イントネーションが下がる「I'm sorry」は「申し訳ない」という意味です。

音声録音を聴きながら、正しい発音に気をつけましょう。

音声録音は講座のページからぜひダウンロードしてお聞きください。
また、本章のフレーズの音声は[こちらのリンクからダウンロード](#)できます。

(音声) 1-1

A: Hey, wasn't that arayit?
B: I'm sorry...

この「I'm sorry」を言えば、相手はきっと待ってくれます。もしかしたら続きを言わなくてもあなたが言いたいことをわかってくれて、もう一度言い返してくれるかもしれません。

次に・・・

もう一回言ってくれるように頼む

相手にもう一回言ってくれるように頼みます。いろいろな言い方がありますが、より簡単に自然な言い方は以下になります。

(音声) 1-2, 1-3

「Could you say that again?」

「Could you repeat that?」

フレーズの解説：

「could you」はお願いをする時に良く使うフレーズです。

第1章

多くの日本人は「repeat（繰り返す）」という言葉をよく使います。しかしこの言葉は少し丁寧で、通常の会話ではあまり使われていません。

前者の「say again」の方をネイティブはよく使います。

「Repeat」 = 丁寧

「Say again」 = カジュアル（よく使われる）

「That」とは相手が言ったことを指す言葉です。

「Could you say that again?」

このフレーズを使うと、相手はきっともう一回言い返してくれるはずですが。

でもさらに問題があります。僕の個人的な経験ですが、日本人と話すことに慣れていないネイティブは、しばらくはゆっくりと話してくれます。でもそのあとはいつも通りの早口に戻ってしまうことがよくあるのです。

では、相手がずっと聞き取りやすく話してくれるために、あなたはどうしたらいいのでしょうか？

聞き取れない理由を伝える

心理学の研究によって、相手にお願いするときに「理由を伝えれば相手が従う可能性が3倍になる」ということが明らかになっています。ですから、あなたがお願いをする時、「理由」も一緒に伝えることをおすすめします。

例えば、お願いする前に以下のように理由を伝えます。

(音声) 1-4, 1-5, 1-6

「I'm sorry, but **I'm still learning English**. Could you say that again?」

すみません、英語が勉強中なんです。もう一度言ってもらえますか？

「I'm sorry, but **I couldn't catch that**. Could you say that again?」

すみません、聞き取れなかったので、もう一度言ってもらえますか？

「I'm sorry, but **I couldn't understand that**. Could you say that again?」

すみません、分からなかったので、もう一度言ってもらえますか？

フレーズの解説

このフレーズの「but」は、丁寧な遠慮を表します。「But」を必ずしも言う必要はありませんが、お願いのトーンを丁寧にする効果があるので使うことをおすすめします。

1つ目の理由は「まだ英語を勉強中です」という意味です。

「I'm bad at English」または「I can't speak English」というネガティブな理由は会話の雰囲気をも少し悪くします。

ここではよりポジティブな「まだ英語を勉強中です」という表現をおすすめします。

2つ目と3つ目の「I couldn't catch that (そこ、聞き取れなかったです)」と「I couldn't understand that (そこ、わかりませんでした)」は、自分は英語ができないというネガティブな感じではなく、その会話の一部分だけがわからなかったという意味になります。

あまりにも謙遜しすぎると、会話の雰囲気が暗くなってしまうのでご注意ください。

全体的にゆっくりと話してくれるようお願いする

今まで学んだフレーズは

「I couldn't catch that, could you say that again?」

「I'm still learning English, could you repeat that?」

このフレーズは聞く前に相手が言ったことを一つだけ指します。相手はあなたに合わせてその箇所だけ聞き取りやすく言ってくれるかもしれません

もし全体的にゆっくりと話してもらいたいなら、以下のフレーズを使います。

(音声) 1-7

「Could you speak more slowly?」
ゆっくり話してもらえますか?

たとえば、

(音声) 1-8

「I'm sorry, but I'm still learning English. Could you speak more slowly?」
すみません、英語勉強中です。もっとゆっくり話してもらえますか？

この場合、相手が直前に言ったことのある箇所だけではなく、相手が言ったこと全体を指すので相手はきっと聞き取りやすくゆっくり話し続けてくれます。

お疲れさまでした！

今日はこれで以上になります。

これでもう、今度相手の英語が聞き取れなくても、あなたはスムーズに会話を続けることができます。

第2章を読む前に・・・

- ① このセクションのビデオレッスンを観てください。
- ② Speed Speakingレッスンを受けてください。
- ③ 練習動画を観て、練習してください。